



JASDAQ

平成 21 年 1 月 27 日

各 位

香川県高松市扇町二丁目 7 番 20 号

セーラー広告株式会社

代表取締役社長 植村 貴好

(コード番号：2156)

問い合わせ先 取締役総務本部長 山内 務

TEL 087-825-1156

平成 21 年 3 月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の連結業績予想について、平成 20 年 5 月 13 日に公表した業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせします。

記

1. 平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	10,467	199	221	113	18.69
今回予想 (B)	9,704	76	96	24	3.98
増減額 (B-A)	△762	△122	△124	△89	—
増減率 (%)	△7.3	△61.4	△56.5	△78.9	—
前期実績 (参考) (平成 20 年 3 月期)	10,253	201	205	82	14.12

2. 修正の理由

当第 3 四半期における当社グループ商勢圏におきましては、国内経済の景気減速、個人消費の萎縮等によって多くの企業が影響を受けました。また、広告発注の中央集権化等もあり、広告主の広告費予算縮小傾向がますます顕著になりました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、広告主の販売促進活動の企画提案、新規広告主の獲得を目的とした東京・福岡への社員駐在、地域情報・地域物産をテーマにした別冊単行本の発行、インターネットコンテンツ等を活用したクロスメディア企画の提案などにより、これまで以上にサービスの拡大と質の向上に取り組みました。その結果、当第 3 四半期におきましては、「地域 ICT 未来フェスタ 2008」企画・運営・実施業務、流通小売業の年末年始商戦に伴う各種広告・販売促進企画、娯楽業の店舗改装等に伴う告知広告などを受注しました。

平成21年3月期の通期業績につきましては、同第2四半期連結累計期間業績予想の修正発表時点（平成20年11月4日現在）では、前記の大型イベントおよび広告受注に加え、主要広告主からの継続した広告受注と新規開拓による受注を見込んでおりました。しかしながら、当第3四半期におきまして予想以上の広告主の広告費予算縮小があり、当第4四半期におきましても厳しい雇用・所得環境による消費マインドの低下に連動した広告費予算縮小傾向が引き続き予想されることから、通期の連結売上高は、前回発表の予想数値を下回る9,704百万円（計画比7.3%減）となる見込みです。

利益面におきましては、売上高の減少に伴う売上総利益の減少を見込み、営業利益、経常利益はともに前回発表の予想数値を下回る76百万円（計画比61.4%減）、96百万円（計画比56.5%減）となる見込みです。また、特別損失として投資有価証券評価損等を見込み、当期純利益は24百万円（計画比78.9%減）となる見込みです。

3. 配当予想について

当社は、従来から、株主への利益還元を重要な経営課題のひとつとして位置づけており、安定した配当を継続して実施することを基本方針としております。よって、平成21年3月期の期末配当につきましては、平成20年5月13日に公表した数値から変更はなく、1株当たり4円を予定しています。

以 上